

令和6年度まちづくり座談会会議録（庚申町・栄町）

開催日時	令和7年9月26日（木）午後7時00分～午後8時20分
開催場所	庚申町公民館
出席者	町長 庄司 中 まちづくり推進課長 大山 和彦 建設課管理主幹 栗田 尋木 総務課長 土屋 弘行 副町長 高橋 裕 産業振興課長 八畝 誠 教育文化課長 小林 基流
出席者	10名

議事概要

1. 開会	総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）
2. 副町長自己紹介	高橋副町長が挨拶を行う。
3. 町長説明	庄司町長が説明を行う。
4. 懇談	
総務課長	ここからは、意見交換ということでさせていただきたいと思いますが、皆様からご意見、ご提言をいただければと思います。発言される際は、地区名とお名前をおっしゃっていただいてから、よろしく願いいたします。座ったままで結構でございます。こちらの方も座ったままでお答えをさせていただきます。何かご質問、ご意見がございましたら、お受けしたいと思いますので、よろしくお願い致します。
参加者	行政放送が自分の家の所では何を言っているか分かりません。スピーカーの近くだと、多分、うるさくてダメなんじゃないかなと思うんだけど、今度離れている所で家の中にいると、何言っているか分かりません。スピーカーじゃなくて、何かもっと良い方法が無いのかなと思いました。
総務課長	私の方からお答えをさせていただきますが、他の地区からもそういうご意見を頂いておりますですね、防災放送、やはり近くなればうるさいという声も聞こえてきますし、聞こえないという声も確かにございます。それを解消するには、単純に放送設備を増やせば良いんじゃないかというご意見もあるんですけども、あまり設備を増やしても、スピーカー同士の音でハウリングを起こし、逆に聞きづらいというようなこともありまして、今はどちらかといえば、防災放送もするんですけども、公式LINEや電話で聞くなどの方を現在進めております。ただ、スマホを持っている方は多分登録できるのかなと思いますけれども、そうでない高齢者もいらっしゃるかと思いますので、そのような方に対して、その情報をどのように伝達したら良いのかということで、今、内部の方でもどのような方法が良いかということで検討しております。一つ例を挙げればですね、他の市町村で、ラジオのスピーカーが鳴るようなものとか、そういうことを実施しているところもありますので、そういう方法も取れないかということで、現在検討しております。なるべく早くですね、そういうような事業を実現できればと思います。生命、財産に関わることも出てき

	<p>ますので、この辺の情報はやはりしっかり伝えてまいりたいというふうな考えでありますので、現状としてはそういう状況でございますので、よろしく願いいたします。</p>
参加者	<p>町の方から1か月で2,000円だけかな。年寄りのオムツとかを買えるのがあったんだけど、その制度は大石田町でしか買えないような制約があって、前に大石田町で買うと2,500円で500円の自己負担があるものが、尾花沢市の店だと、2,000円だったことがあって、他のところでも買えるようにならないのか。</p>
総務課長	<p>ちょっと今日、保健福祉課の課長が来ていないんですけども、その前任の課長がいらっしゃいますので、ちょっとお答えしたいと思います。</p>
産業振興課長	<p>介護用品券については、介護度によって発行しているんですが、どうしても商工業振興という関係もございまして、今のところは大石田町ですと、数軒でしか使えなくなっているんです。尾花沢市もということはあるんですけども、確かにちょっと高いのかもしれませんが、それはご了解いただきたいなというふうに思います。</p>
町長	<p>プレミアム商品券もやはり商工業の発展ということもあり、町内としているが、もちろん完全に否定するわけでもなくて、やはり使い勝手の良いことにどうしたら良いかという広域的な考えも、やはりご意見として承ってですね、考えていただければなと思いますので。ありがとうございます。</p>
参加者	<p>自主防災組織についてですけども、自主防災指導者研修会の参加者名簿を出してくださいなど、そういう通知が来たりとかしているんですけども、実際、町内で防災組織のメンバーというか、人員の名簿は形として出しているんですけども、実際を見ると、仕事をしていると日中とか、例えば火災が起きても動けないわけです。実際、町内で残っている方というのは、年配の方が多いわけで、そういう方で何とか対処しなくてはいけない。先ほど役場の方で専門の職員さんを雇ったということなんですけれども、具体的に、町内だったらどうしたらいいのかというアドバイスなり、細かいところを指導なりして欲しいんですけど。例えば寝たきりの人が何人いるから、そういう場合はこういう体制を取った方が良いとか、こういう火災の場合は自分たちで消火すべきなんだとか。そういうシミュレーションみたいなのを具体的に教えて欲しいというのが一つあります。</p> <p>あともう一つはちょっと関係するかもしれませんが、先ほどの除雪の件です。町民、地域、町が相互に協力し合うというのがあるんですけども、大石田の場合ですと、豪雪地域で我々の力では何ともし難い災害なわけですよ。毎年災害を受けているようなものなんですよ。それを年老いた人たちがせっせと毎朝、毎晩除雪してやっているわけですよ。それを「自助」が一番最初だというのはおかしいんじゃないかというふうに私は思うんですよ。災害ならば。自助じゃなくて最初は「公助」なんじゃないかというふうに私は思うんですけども、自分でまず何とかしろということなんじゃないかな。その辺は考え方によるのでしょうか。</p>

<p>総務課長</p>	<p>最初の自主防組織の関係については、私の方からお答えいたしますが、どのような行動をとったら良いのかや具体的な内容等については、「地域防災専門員」ということで退職自衛官の方を今年から雇用いたしました。今でも他の地域から講習してほしいという話もいただいて、そこに防災専門員が行ってお話などもさせていただいております。ですので、日程などを調整していただければ、そこに専門員を派遣いたしまして、こういう場合はどうなんだろうとか、そういう打ち合わせなども今まで自衛隊で培ってきました経験なども活かしながら、話し合いをできればなどというふうに考えております。なるべく地域の方に入っていただいて、自主防災組織のあり方や行動について、町との連携を強化してまいりたいと考えておりますので、庚申町地区の方で皆さんが集まるような日程とかを組んでいただければ、こちらの方でそこに参りたいと思いますので、ご協力をいただければと思います。</p>
<p>建設課管理主幹</p>	<p>それでは私の方から、今いただきました「公助」の方が先ではないかということについて、これに対して建設課の方からの考え方として、答えになるかどうか分からないんですが、お話を聞いていただければと思います。こちらの方に記載していただいている、「自助、共助、公助」の方針ということで、先ほど、災害というお話もありましたけれども、まず身の回りに何か災害のようなことが起きれば、ご自身のお身体、またご家族の安否というところが一番先に来ようかと思えます。そういった点で、まずは「自助」というところをお書きいただいているのかなと読み取っておりました。その次にその「共助」ということで、地域や皆さん、また「公助」ということで、町でしたり、他の機関でというところで、除排雪に対して、それがどのように連携していけるのかなというところは、常日頃、庚申町の皆様、栄町の皆様にもご協力をいただきながら、流雪溝でしたり、町内の方は消雪でしたり、いろいろな形で除雪というものを、負担を軽減できるやり方がないかというところをですね、考えながら、建設課の方としては対応をしまっているところがございます。その中で、「公助」というところでも、区長さんの方から、いろいろ地域の除雪上の問題をですね、除雪の会議が今後行わせていただくんですけども、その際に、やはり先ほどもございましたように、それぞれの地域でですね、いろいろ抱えていらっしゃる課題が違っておりますので、そういったその地域で抱えていらっしゃる課題、またはご年齢でしたり、時間帯でしたり、そういったところをそれぞれ地域の方々から、聞かせていただく機会もございます。先ほどおっしゃったように、災害のような大雪が一晩に50、60センチも降ってしまうとですね、皆さんお困りになられるのはこちらの方としても承知しております。1月、2月の厳寒期にそれが起きますと、建設課の方でも、対応できないような状態になっているのが実情でございます。そういった時も、通常の生活が可能な限り送れるようにということで、こちらの方も皆さんと一緒にですね、考えていければと、情報を集めながら動かさせていただいているというのが実情でございます。答えになっているかどうか分からないのですが、現在の状況はそうになっております。</p>
<p>町長</p>	<p>町としても、国や県にそういった特別豪雪地帯に指定されていますので、今後とも、普段から県や特に要望する際は必ずそれを入れて、しっかりと支援であったり協力していただけるようお願いしております。今後も続けていきたいと思っております。</p>

参加者	<p>で、よろしくお願いいたします。</p> <p>除雪に関してなんですけれども、空き地にも雪を押しわけですよ。それに対して、業者さんからの挨拶とか何十年と無いんですよ。尾花沢市のとある方に聞きますと、挨拶するよ、回って歩くよって言うので、大石田町はそういう体制は無いのか聞きたいのですが。</p>
建設課管理主幹	<p>ご挨拶がないというのは、建設課の方としては、職員の方が一件一件ご挨拶に伺っているという体制は、確かに町としては行ってございません。そのお借りする際に、なかなか雪をpushする場所が限られてしまうもので、区長さんから窓口になっていただいたりして、その地区の中でどこにpushするかというのを調整させていただいております。建設課の方で管理している雪押し場の台帳としては、これまでも皆さんのご調整の結果を引き継がせていただいているというふうにしております。その中で業者さんの方で、例えば土地の状況が毎年変わりますので、変わった状況があれば、他の所ということで、区長さん、また近隣の方々に相談をさせていただいたりして、職員も含めて、地区の方と皆さんと一緒に雪押し場の協力をお願いして確保させていただいているというところでございます。</p>
参加者	<p>別にいいのだけど尾花沢市の状況を聞いたので。</p>
参加者	<p>町民憲章にもきまりを守りと書いてあるのですけれども、大石田町にも毎月1日を交通安全の日にしてはいるのですけれども、各町内で交通安全の日の1日に旗を立てている人は限られている。こういう小さいことから守らなければいけない。</p>
まちづくり推進課長	<p>はい。ありがとうございます。で、やはりおっしゃられるように、町としても毎月1日を、交通安全強化の日として、大石田地区でいきますと、大石田は今宿の駐車帯の方で町内に来られた車や、町内から出勤などに出かけていく車に対して、啓発活動なども行っていただいております。そして、タペストリーの方も、地区によってその取扱いについては様々な形態がございます。私のところでいくと、隣組長が1日になったら掲げるという流れになっているんですけど、そういったことも、ぜひ地区の方にも呼びかけてまいりたいと思います。</p> <p>また、クリーンアップについても、第1日曜日に地区の清掃活動でありましたり、河川の清掃にご協力いただきまして、ありがとうございます。こちら、やはり啓発用ののぼり旗で、これもやはり地区によって掲載の仕方が違って、毎月第一日曜日に掲げるところもあれば、地区のゴミステーションなどに、クリーンアップや不法投棄防止とかの旗を、一緒に掲載しているところもございますので、そちらの運用につきましては、お任せさせていただければと思います。</p>
参加者	<p>県道を花で飾ろうという花が来るわけなんですけれども、この花はこういうふうにするんだよとはっきり伝えてはどうか。言ってもやらない人もいるだろうが、しっかりと説明したらいいと思う。ちゃんとしている地区もある。こういう小さなことから、やっぱり住みよい町にしないといけない。</p>

建設課管理主幹	<p>この度も区長さんの方から何度も役場の方にお越しいただいて、庚申町の方でどのように花の方を植えていただけるかということで、ご相談を頂戴しました。なかなか植えるプランターでしたり、設置場所を確保できる場所と難しい地区というところで、なかなかあるものですから、その都度、区長さんの方とお話をさせていただきながら、これまではやってきた次第です。これからはアドバイスの方を頂戴したように、もう少しまとまった形でとか、こちらの方ももう一歩、そういったところも含めてですね、例として何か区長さんにお出しできるような形で、これからご協力をお願いしていきたいなと思います。ありがとうございます。</p>
参加者	<p>小さいことなんですけれども、町内じゃなくて他に勤めているんですけれども、大石田の人たちってやはり発信するパワーが弱いと思うんですよ。もちろん各市町村に地域おこし協力隊とかいらっしゃいますけど、SNSを使ってなどの発信力が強い。今いる町はこういう町ですよというのをどんどん紹介しているんですけれども。私もSNSをやっていますけれども、町の情報って少ないと思うんですけれども、協力隊を活用して、もっとやらないのかなと思う。確かにダンスとかは、いろいろなイベントはやっていますけれども、果たしてどの程度、人が集まるのか、その辺もちょっと聞きたかったんですけれども。ただやればいいではなくて、いろんなコラボとかをやって、もっと広く周知できるのかなと私は感じています。</p>
まちづくり推進課長	<p>協力隊の情報発信についてですけれども、他でPRをやっているかどうかといえますとやっております。ただ、ここでPRしてきましたということに対しての情報発信が無いと言われれば、やはりそういう一面もあると思っております。またイベントについても、「こえのくら」という拠点がございますので、そちらをやはり中心にさせていただいているんですけれども、今後より広い場所でのイベントの発信なども進めていきたいと思っております。昨年ですとあつたまりランドさんでイベントを開催してみたり、スイカオーナーの収穫に合わせてしてみたりということはあったんですけれども、まだ今年はそこまで行ってきていないというのが正直なところでございます。</p> <p>せつかく最上川と関わりのある町なので、堤防などの整備事業などをどうにか使えないのかなと思っていたんですけれども、国交省もそういったことに活用しているような話もあって、やっているところもあると聞いたことがあったので、ありがとうございます。確かに外から来てもらって、活性化しているのかもしれませんが、それ以外にもやっていった方がイメージアップに良いのかなと思います。</p>
教育文化課長	<p>先日もダンス関係のイベントとして、「ドキドキダンスフェスティバル」ということで大雨の中だったんですけれども、150人ほどの来館者を集めましてイベントを開催しております。こちらの他にも外からアーティストを呼んで様々やっておりますので、こちらの方の情報が足りないということであれば、情報を発信するように今後も努めていきたいと思っております。</p>
参加者	<p>例えばですね、その大橋さんがもし他に行っちゃったら、それは後には残らないんですよ。</p>

教育文化 課長	予算が絡むものなんですけれども、私どもとしてはこのまま協力隊の方がいなくなったら終わりにするのではなくて、引き続き行っていきたいと考えています。
参加者	通り一遍で終るのではなく、それを含めたまちづくりをやるとか、バイオリンの町だったりとか、またそういった関連の人を呼んで、そういったのをまちづくりとしてやっていかないといけないと思うんですけど。
教育文化 課長	そうですね、まずダンスの大橋さんが中心になっているんですけども、そうやっているんな知り合いのアーティストの方を呼んで、イベントの方を今後も開催していく予定ですし、大橋さんが協力隊を辞めた後も、引き続きできるような体制をとっていききたいと現在考えているところです。
参加者	せっかく定住をしたいような考えでいらっしゃると思うので、やっぱりそういった来た方を定住させていって、こういうふうに発信していくというのは必要かなと思う。
参加者	駅前の「こえのくら」ってありますけれども、中に入ったときに3人くらいいらっしゃったんですけども、こういうのがありますよ、どうぞとかっていう声があってもいいかなと思ったんですけども、何もなくて。なんか、私行って悪かったのかということがあったので、なんかもっと愛想良くしてほしいというのが正直思いました。
まちづく り推進課 長	はい、そういった声も賜っておました。昨年もそういった声結構ありましたので、現在運営していただいている方には、そういったところも含めてお客様として、町内の方でありましたり、町外から訪れていただいたお客様にも、挨拶なりを徹底していただきたいと思います。
参加者	「晴れ風」というビールの件ですが、東京のイベントとして、行って一緒に売るとかというものでないのか。
産業振興 課長	ではないです。晴れ風アクションというのは飲んだ本数とかについても寄附がありまして、全国47都道府県で、県から1自治体ずつ選ばれてまして、そちらの方に寄附をいただくような形で、80万円くらいいただくんですけども、それにプラスでQRコードを読んで、大石田町を応援しますよと選んでいただくと、0.5円、加算になるというような形のもので、大石田町が、晴れ風をアピールするようなことではないんです。
参加者	赤い羽根共同募金とか依頼くるけど、必要ないと思う。景気がみんな良くないのに一軒一軒回る必要はないと思う。
産業振興 課長	赤い羽根共同募金とかは全国的に行っている事業で、国で一旦集まった募金の中からも、そこからまた町の方に還元してもらえます。それでいろんな事業もできる

	<p>ので、町だけじゃなくて困っている人にか。協力してもらえる方に協力してもらうという募金なので、強制ではないです。</p>
参加者	<p>言いたいことは、募金するのは全然構わないけれども、わざわざ羽根とか作らなくても節約して必要なことに使えば良いんじゃないかという話です。</p>
産業振興課長	<p>地区では羽根を要らないというところもあるんですが、そういうところにはお渡ししていないところもあります。ご意見もあるということで頂戴したいと思います。</p>
参加者	<p>県道だけでも、歩道と車道を除雪するが、雪の壁になっていて危ない。高校生も歩くので、人が隠れるというくらいになったら、危ないので県に言って、こまめに除雪してもらった方が良いんじゃないかなと思うので、県の方に言ってもらいたいと思う。</p> <p>もう一つ、大高根山の方に水芭蕉って前あったんだけど、今あるか無いか分からないけど、それを観光資源として活用ならないのかなと。温泉に行ったり、千本だんごとか、結構大石田町に来る人がいるものですから、そっちの方にも行ってみようかなと思って、普通の車で行けるような状態であればと思う。今ではもう行けないような感じだからね。その辺整備したらどうなんだろうなと思う。そういう余裕ないんだと思うんだけど、いいんじゃないかなと思いました。</p>
町長	<p>はい、ありがとうございます。県道の雪に関しては、私の家もすごい壁ができるので。建設課に伝えてもらえば、県に伝えますので。</p>
参加者	<p>自分が言ってもしょうがないから町の方で言ってくれた方がいいと思うので。県で一生懸命やってもらわないと。</p> <p>もう一件、今じゃないんだけど、昔は、デイサービスの車が家のところに車を止めて、お年寄りを降ろしていた。ある時、雪で家の中に車が入れないから、なんとかしてくれと言われた。自分が仕事をしていて、雪が降って午後を過ぎることがあると、雪が溜まっていて、車が入れないから、なんとかしてくれと言われたがなんともできない。シルバー人材センターにお願いして、一回やってもらったが、それ以降してもらえなくて、シルバーさんになんでやってくれないのかと聞いたら、そういう人がいないんだとかって言うんだけど。それも町の方でシルバーさんの方に言ってもらいたい。今からだんだんそういうのが増えてくるんじゃないかと思って。車を道路に止めては邪魔になるし、シルバーさんと町の方で話し合っ、やれる手段があればいいんだけど。シルバーさんと町は関係無いのですか。</p>
町長	<p>シルバーさんと町については、関係は無いです。</p>
参加者	<p>うちは、シルバーさんには頼んだ時はありませんけれども、やっぱり、どっさり雪を置いて行かれると、デイサービスに行っただのおばあちゃんが、中に入れないって、目も見えないんで、大変なんです。きちんと除雪をお願いしたいと思います。</p>

教育文化課長	水芭蕉の件は、除雪が終わった頃にちょうど見頃になって、今も群生地はしっかりと群生しています。活用の方は、観光の方とも協議しながら、もっと活用できるようにしていきたいと思います。入り口のところにこんな小さい看板があるくらいで、町の中には何も案内するものはないです。
参加者	温泉に来たらここにあるとか、ちょっと行ってみたらあるとかって言えるような感じになりたいんだけどね。
教育文化課長	そうですね。車で行くとそんなに遠くはないと思うので、検討させていただきたいと思います。
参加者	町民の森は今どうなっているのか。
産業振興課長	あるにはあります。下刈りは行っていますが、活用となるとなかなか難しい状況です。
総務課長	水道とかも使えないので。それでちょっと、何をしたら良いか悩んでいるところがあります。
町長	去年、僕も登ったときに桜があって、すごく良いんですけど、どうやって使うか今考えているところです。
総務課長	では、その他ございますか。それでは、この辺で、座談会の方は終了させていただきたいと思いますが、今日は座談会というような形式で、こんな形でしましたけれども、ご意見やご提言などについては、随時、町の方でも、町民ホールの方にもご意見箱とかですね、設置しておりますし、区長さんを通じてでも結構ですので、皆さまも、こうしたら良いんじゃないかとか、良いアイデアがありましたら、ぜひお声掛けいただければ、大変町としても助かりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。では、以上をもちまして、座談会は終了させていただきます。夜分、お集まりいただきまして、ありがとうございました。
6. 閉 会 （午後8時20分）	